

衆議院 第二百一回国会 予算委員会 議 録 第二十一号

令和二年四月二十九日(水曜日)
午前八時三十分開議

出席委員

委員長 棚橋 泰文君

理事 井野 俊郎君 理事 後藤 茂之君

理事 坂本 哲志君 理事 葉梨 康弘君

理事 堀内 詔子君 理事 山際 大志郎君

理事 大串 博志君 理事 渡辺 周君

理事 伊藤 渉君

あべ 俊子君 秋本 真利君

伊藤 達也君 石破 茂君

今村 雅弘君 岩屋 毅君

うへの賢一郎君 衛藤 征士郎君

小倉 将信君 小野寺 五典君

奥野 信亮君 神山 佐市君

河村 建夫君 笹川 博義君

根本 匠君 野田 毅君

原田 義昭君 平沢 勝栄君

古屋 圭司君 村上 誠一郎君

山口 壯君 山本 幸三君

山本 有二郎君 渡辺 博道君

今井 雅人君 小川 淳也君

大西 健介君 岡本 充功君

川内 博史君 玄葉 光一郎君

後藤 祐一君 玉木 雄一郎君

辻元 清美君 西岡 秀子君

本多 平直君 馬淵 澄夫君

前原 誠司君 國重 徹君

濱村 進君 志位 和夫君

藤野 保史君 宮本 徹君

足立 康史君 杉本 和巳君

内閣総理大臣

安倍 晋三君

財務大臣 麻生 太郎君
国務大臣 (金融担当)
総務大臣 高市 早苗君
文部科学大臣 萩生田 光一君
厚生労働大臣 加藤 勝信君
経済産業大臣 梶山 弘志君
国務大臣 (原子力損害賠償・廃炉等支援機構担当)
国土交通大臣 赤羽 一嘉君

国防大臣 竹本 直一君
防衛省人事教育局長 岡 真臣君
予算委員会専門員 鈴木 宏幸君
委員の異動
四月二十九日
大西 健介君 補欠選任
後藤 祐一君 西岡 秀子君
宮本 徹君 志位 和夫君
杉本 和巳君 足立 康史君

同日
辞任
玉木 雄一郎君 補欠選任
西岡 秀子君 後藤 祐一君
志位 和夫君 大西 健介君
足立 康史君 宮本 徹君
杉本 和巳君

本日開議に付した案件
政府参考人出頭要求に関する件
令和二年度一般会計補正予算(第一号)、令和二年度特別会計補正予算(特第一号)
令和二年度政府関係機関補正予算(機第一号)

政府参考人
(厚生労働省大臣官房高齢・障害者雇用開発審議官) 達谷 庸野君
(厚生労働省医政局長) 吉田 学君
(厚生労働省労働基準局長) 坂口 卓君
(資源エネルギー庁電力・ガス事業部長) 村瀬 佳史君
(中小企業庁事業環境部長) 奈須野 太君
(国土交通省土地・建設産業局長) 青木 由行君

長坂口卓君、資源エネルギー庁電力・ガス事業部長村瀬佳史君、中小企業庁事業環境部長奈須野太君、国土交通省土地・建設産業局長青木由行君、防衛省人事教育局長岡真臣君の出席を求め、説明を聴取したいと存じますが、御異議ありませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○棚橋委員長 御異議なしと認めます。よって、そのように決しました。

○棚橋委員長 この際、一言申し上げます。

本日は昭和の日に当たりますが、昨日に引き続き、重要な補正予算の審査を充実かつ迅速に行うことで、国民の負託に応えてまいりたいと存じます。

また、昨日も申し上げましたが、委員会中におきましては、それぞれの場所において密集、密接とならないよう、皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

昨日の枝野幸男君の質疑に関連し、玉木雄一郎君から質疑の申出があります。枝野君の持ち時間の範囲内でこれを許します。玉木雄一郎君。

○玉木委員 共同会派、立国社、国民民主党代表の玉木雄一郎です。

まず冒頭、新型コロナウイルス感染症で亡くなられた四百十三名の皆様の御冥福と、御遺族に対しても心からの悔やみを申し上げます。御遺族に對しては、現時点で一万三千八百九十五名の感染者がおり、闘病中でございます。心からのお見舞いを申し上げます。

また、医師、看護師、看護助手、臨床検査技師、臨床工学技士、医療関係者、医療従事者の皆様には心から敬意と感謝を申し上げます。あわせて、電気、ガス、水道、流通、社会インフラを支えておられる方々にもあわせて感謝を申し上げます。

理の自宅動画の公開など、思いつき、場当たりの対応には多くの不信の声が上がっています。問題の本質ではなく、目先の支持率を気にした官邸官僚の提案が裏目に出ているとすれば、その責任は総理にあります。

あぐくの果てが今回の補正予算。私たちの要求が通ったことは評価しますが、一度閣議決定した補正予算案の撤回で、既に大きく出おけている政策実現が更におくれたこと、前例のない失態と考えます。

今回の補正予算の内容についても、質的、量的に極めて不十分です。収束後に行うべきゴー・トゥー・キャンペーンなどが盛り込まれていることも問題です。昨日来の審議で、アルバイト先を失い学業が継続できない学生への支援など、具体的な我々の提案にも冷たい回答が続きました。いや、我々のみならず、与党幹部からの雇用調整助成金の上限額の上乗せなどの真つ当な提案にも後ろ向きでした。

補正予算を質的、量的に拡充する我々党派及び日本共産党提出の組み替え動議への議員各位の賛成を心からお願います。

質的、量的には不十分な政府案ではありますが、我々の提案も一定盛り込まれ、また、現在厳しい状況の中にある多くの国民にとって貴重な支援となることも事実です。私たちの組み替え動議が否決されたとしても、政府案に賛成いたします。

最後に、今後も国民の命と生活を守るため、新型コロナウイルス対策に関し、私たち野党は、政府・与党とも協力すべきは協力し、また主張すべきはしっかりと主張し、全力を尽くしていくことをお誓いし、私の討論とさせていただきます。

(拍手)

○棚橋委員長 次に、藤野保史君。
○藤野委員 私は、日本共産党を代表して、二〇二〇年度補正予算案及び同予算に対する組み替え動議、いずれにも賛成の討論を行います。
本補正予算に求められているのは、新型コロナウイルス

ウイルスへの対応に当たって、感染爆発と医療崩壊を絶対に起こさないこと、日本に暮らす全ての人の生活と営業を守り抜くことです。

感染爆発と医療崩壊をとめる上で大きな鍵となるのが、PCR検査の体制を抜本的に改善、拡充することです。ところが、本案には、PCR検査センターを想定した予算は全く計上されていません。

新型コロナウイルスへの対応で一病院当たり月二億円の減収という試算もあり、全国約二百のコロナ患者受入れ病院に当てはめれば半年で一・四兆円です。ところが、本案の緊急包括支援金は千四百九十億円にすぎません。

感染リスクのもとで、精神的にも肉体的にもぎりぎりの状態で奮闘している現場の皆さんを支えることこそ、政治の最低限の責任ではありませんか。

次に、暮らしと営業を守り抜くためには、自粛と補償をセットで行うことが極めて重要です。ところが、本案にはこの基本姿勢が欠けています。収束のめどがつかないもとで、収束後のゴー・トゥー・キャンペーンに一兆七千億円もつぎ込むのではなく、まずは目の前の事態に対応するため使うべきではありませんか。

緊急時に暮らしと営業を守り抜くためには、平時のやり方では救えません。雇用調整助成金は、新型コロナウイルス特例として、一日当たり八千三百三十円の上限を引き上げた上で、事後審査を基本とするなど、迅速な手続に転換すべきです。持続化給付金の対象拡大、支給額の引上げ、そして何より、一回限りでない継続的な支給が必要です。地方創生臨時交付金も、全国知事会が求めているとおり、大幅に増額し、自由度の高い制度にすべきです。イベント自粛による損失補償や学生への支援も急務です。

こうした支援を実施するためには、百兆円を超える当初予算にもメスを入れるべきです。辺野古埋立てやイージス・アショアなどの予算は執行停止し、新型コロナウイルス対策に回すべきです。

野党は、雇用調整助成金の改善、持続化給付金の増額、地方創生臨時交付金の増額などの予算組み替えを提案し、家賃支援法案も共同提出しています。これらの提案を真摯に検討することを強く求めます。

国民の声に押されて、政府が一律十萬円の給付に転換したもとで、一刻も早く国民に届けることが強く求められていることから、本補正予算案に賛成し、討論を終わります。(拍手)

○棚橋委員長 次に、杉本和巳君。

○杉本委員 日本維新の会の杉本和巳です。補正予算三案に賛成、組み替え動議に反対の討論をいたします。

組み替え動議は、事前提示がありませんでしたので反対です。

今、私も政治、行政、国会に求められているのは、命を徹底的に守ることとスピードアップ、そして政治家の覚悟です。これらの観点から、補正予算三案には改善するべき点がありますが、賛成いたします。

私も補正の準備を提起したのは、二月の当院での締めくくり質疑や本会議討論でした。あれからほぼ二カ月。参議院での予算審議があったとはいえ、補正の指示や編成など本予算審議に並行して準備を進めていけば、四月の緊急事態宣言発出と同時に四月前半での審議、そして四月中の給付ができたと言えます。

次に、本補正予算案で改善するべき二点を申し上げます。

一つは、いわゆる不要不急の内容が計上されています。新型コロナウイルス感染症収束後に不すべき経済対策です。もう一つは、地方創生臨時交付金一兆円の規模についてです。大幅増額が必要です。

我が党は、特措法修正の必要性提起時以来、国が休業要請するなら補償も行うべきと強く訴え続けております。現行は、各地方自治体が休業要請を民間にお願いして、厳しい財政事情の中から協力金の制度をつくっています。都道府県知事が活

用できる使途制限を設けない形、地域の自主性を尊重する形で、自治体の取組を財政で後押しすることを強く求めます。

次に、スピードアップの観点から、早急な第二次補正予算の準備を提唱します。

その要点は、COVID-19対策の優等生の台湾と日本の違いの原因の一つは、個人のIDの存在です。台湾では、徹底した隔離やマスクの配付はIDがベースとなっているのです。日本もこの機会にIDの徹底普及をすることを強く提唱します。

我が党は、新型コロナウイルス対策に関する提言第四弾を発表し、提起しています。国民の生活資金の保障について、マイナンバーの活用による給付の迅速化、特別定額給付金の最低所得保障制度の導入による継続、民間活用型生活福祉資金貸付けの創設とマイナンバーひもづけ事後審査による給付への切りかえです。また、我が党が野党と昨日共同提出した家賃支払い猶予法案の早期審議が必要です。自粛要請に協力する事業者が安心してきよう、テナント、オーナー双方を支える賃料免除の仕組みを実施しましょう。

結びに当たり、医療提供の現場、体制の堅持と補強を求めて、補正予算三案への賛成討論といたします。

○棚橋委員長 これにて討論は終局いたしました。

○棚橋委員長 これより採決に入ります。

まず、岡本充功君外一名提出の令和二年度補正予算三案につき撤回のうえ編成替えを求める動議について採決いたします。

本動議に賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○棚橋委員長 起立少数。よって、岡本充功君外一名提出の動議は否決されました。

次に、令和二年度一般会計補正予算(第一号)、令和二年度特別会計補正予算(特第一号)、令和二年度政府関係機関補正予算(機第一号)、